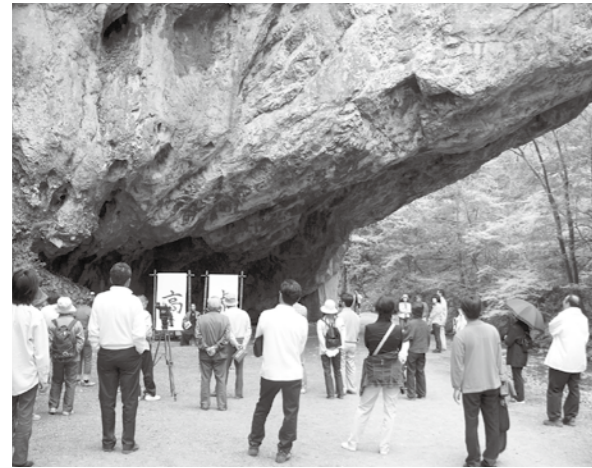


ぐるりしよーばら カメラレポート

大自然の中で、津軽三味線が響く 春の帝釈 雄橋コンサート



5月6日、新緑が彩りを添え始めた帝釈峡の天然記念物「雄橋」の下で、津軽三味線奏者、川本高虎さんのコンサートが開催されました。

津軽じょんがら節やロック調の曲などが演奏されると、大自然の中、高さ40メートルある石灰岩の岩橋が反射板となり、和の調べが溪谷に響き渡り幻想的な雰囲気になりました。来場者は「日頃なかなか聴く機会のない津軽三味線だが、聴きなれた曲の演奏に親しみを感じることができた」と喜びました。

川本さんは地元鳥取県を中心に演奏活動をされていますが、阪神淡路大震災の後、各地でストリート演奏を続けられ、現在は大阪に拠点を置かれています。



川本高虎さん

神之瀬川の清らかな水質を保全

農業集落排水事業 高野中央地区通水式



高野中央処理施設での通水式

4月29日、高野町下門田「高野中央処理施設」において、農業集落排水事業高野中央地区一部供用開始の通水式を行いました。

通水式では、高野中央地区農業集落排水組合を代表して、林廣実組合長が「この施設を活用してできるだけ多くの世帯が接続し、神之瀬川の浄化を進めたい」とあいさつしました。

平成11年度に農業集落排水事業調査に着手し、平成13年度に新規採択された本事業は、これまでに約23億円を投じ、管路埋設・中継ポンプ施設と処理場(第2期)などが完成しています。これから急ピッチで、新市・岡大内・中門田・下門田・上里原地区の各世帯や施設で接続が始まり、順次供用開始します。

美しい公園内を約1000人が力走 第5回国営備北丘陵公園マラソン大会



第5回国営備北丘陵公園マラソン大会が5月14日、園内の「つどいの里」で行われました。

地元庄原市の54人をはじめ、遠くは関東や関西などから1009人が参加。観客から拍手を受けながら、新緑の美しい園内を20キロ・10キロ・5キロ・2キロの4種目に分かれて力走しました。

子育て特集が高い評価

「広報しょうばら」が全国第2位



14ページの子育て特集を組んだ広報しょうばら12月号

平成18年全国広報コンクール(社団法人日本広報協会が主催)の審査会が行われ、「広報しょうばら」12月号が広報紙(市部)の部門で第2位に入選しました。

受賞した「広報しょうばら」12月号は、少子化の中での子育て支援を特集した作品。産婦人科医確保の取り組みや市民サークルなど子育てを支えるさまざまな力を紹介しました。

コンクールには、各都道府県の代表作品46点が応募。企画内容や文章力、レイアウト、表現力などが審査され、審査員から「子育てに関するリアリティが感じられた。内容も丁寧かつ立体的な構成」と高い評価を受けました。

広報紙は、市民の皆さんからの情報があって作られます。貴重な時間を割いて取材に応じていただいた皆さんをはじめ、ご協力いただいた全ての皆さん、ありがとうございました。

中国山地の文化「たたら」を学ぶ

備北丘陵公園たたら鉄づくり体験会

たたら鉄づくり体験会が4月22日・23日の両日、備北丘陵公園ひばの里工房で行われました。

「たたら」とは、粘土で築いた炉の中で、原料に砂鉄を用い、燃料に木炭、送風動力に轆を使用しておこなう日本古来から行われてきた製鉄技術のこと。

中国地方に古くから伝わる「たたら」を経験しようと、ボランティアや一般参加者約70人が参加。夜中の午前1時に火入れ式を行い、10時間以上に渡って炉に砂鉄と木炭を交互に入れる作業を繰り返し、日本刀の材料となる「玉鋼」を作りました。



足踏みの轆で風を送り、炎が燃え上がる



昔ながらの作業田植えを再現 比和町布見地区で賑やかに開催

5月14日、比和町布見地区で、昔ながらの作業田植えが再現されました。

この取り組みは、布見地区の皆さんが地元の活性化を目的に企画。布見地区の全戸と比和町内外から合わせて約200人が参加しました。

苗とりから始まった作業田植えは、艶やかに着飾った牛2頭による代かきの後、小学生からお年寄りまでの老若男女が『早乙女』となり、田植えを行いました。

横一列になった早乙女が、歌や囃子に併せて一斉に田植えを行う様子は、昔の農村風景そのもの。また、田植えの最中には、慣れない作業のため、子どもたちがあちこちで転倒する微笑ましい光景も見られ、大いに盛り上がりました。田植えが終わった後は、しし汁が提供され、「地域力」を結集した布見地区の取り組みに、参加者から大きな拍手が送られました。



春の味覚で笑顔広がる 野草もちつき・草木を食べる会

越原みこと会が5月20日、比和町三河内ふれあいの里越原で、「野草もちつき・草木を食べる会」を開催されました。

これは、やまなみ大学の「あっぱら文化伝承講座」として行われ、23人が受講。参加者は地元の方と一緒に、近くの山で山菜を採ったり、杵でヤマブドウ・ホウコウ・よもぎの3種類の野草餅をついたりしました。昼食は、炊き込みごはんや油炒め、おひたしなど、20数種類の山菜や野草を使って、地元の方が調理。「山菜の天ぷらは美味しい」「この山菜の名前は？」などと、交流を深めながら春の味覚を楽しみました。

越原みこと会では、このような体験講座を年7回計画され、次回は7月2日に、「ハンゲのちまき作り体験」が行われます。



テーブルいっぱいの山菜料理

地域で自立した生活を応援します 介護予防支援事業「オアシス」を開催

介護予防サービスの一環として、4月27日から総領地域で、65歳以上の方を対象に独自の地域支援事業「オアシス」をはじめました。

これは、元気な人が要介護にならないように、また要介護になってからも地域で自立した生活が送られるようにするため、4月から6カ月間、総領健康福祉センターで毎週木曜日の午前9時30分から2時間、ストレッチ体操やゲーム形式による頭の体操、調理実習などのサービスメニューを提供します。

第1回目は30人が参加し、体力測定などを実施しました。これからの高齢化社会は、元気な人から要介護の人まで地域でしっかり支えていくことが必要です。総領地域の65歳以上の皆さん、「オアシス」にぜひ一度お気軽に参加してください。



オアシスの開催場所「総領健康福祉センター」



体力測定中のオアシス参加者

登山や観察・キーホルダーも作ったよ!

釜峰山「ふれあいの森」森林教室

4月28日、口南小学校の児童75人が春の遠足を兼ねて、釜峰山国有林(森林浴公園)で森林教室を開きました。子ども達は、森林管理署の職員から森林が地球温暖化防止に役立っている話や、木の名前・高さ・樹齢当てクイズなどをしながら頂上をめざしました。

昼からは、丸太切り体験や桜・ヒノキの間伐材を使って、キーホルダーや人形作りを体験。子どもたちは1日中自然と触れ合いながら、緑の大切さや仕組みを学び、新入生との交流を深めました。



丸太切りに挑戦する子どもたち



公園内の釣堀

わー釣れたぞ！大物だ 第10回ワクワク釣り大会in口和

5月5日、ほたる見公園を中心とした竹地川において、第10回ワクワク釣り大会が約100人の参加者で盛大に開催されました。

いかに良いポイントを確保するか、開始から1時間が勝負の分かれ目のようで、7時のスタートと同時に一斉に大勢の太公望たちが前日放流したヤマメ・ニジマスを狙い、釣り糸を川に浸けました。また、小さな子どもたちは、公園内の釣堀で目の前の獲物と格闘しながら、人の服を釣ったり、針をひっかけたりするハブニングを楽しんでいました。

11時の大会終了時間には、クーラーボックスを一杯にした釣り人が計量を済ませ、超大物賞・特別賞などそれぞれの成果を称えました。



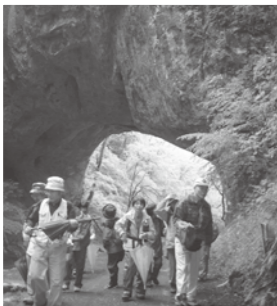
新緑のブナ林と草花ウォッチング 県民の森・帝釈峡でブナの花・山菜・山野草の観察会

中国山地の新緑が鮮やかな5月13日・14日の両日、広島県民の森が主催する「ブナの花、山菜、山野草の観察会」が行われました。

比婆科学振興会の金沢成三さんの説明を聞きながら1日目は帝釈峡を、2日目は県民の森公園内のブナ林を散策して、植生の違う植物を観察。参加者からは「新緑と草花がきれいだった」「丁寧な説明のおかげでしっかり観察ができた」などの声が聞かれました。

県民の森は、海拔800mから1,300mの高地にあって1164haのほぼ全域が国定公園に含まれる動植物の宝庫です。県民の森公園センターでは、年間を通して四季折々の自然を満喫できる観察会を行い、県内外から多くの自然愛好家が訪れています。

問い合わせ 広島県民の森公園センター ☎0824-84-2011



県民の森公園内
ブナ純林

帝釈峡

自治振興区で古代米の田植え 神話の里 熊野むらづくり推進協議会



西城町熊野地区の水田で5月14日、神話の里・熊野むらづくり推進協議会が「イザナミ」の田植えを行いました。

イザナミ米とは、古代から食されているモチ米の黒米で、平成2年頃から観光振興の一環として、西城町熊野地区で栽培されてきました。古事記神話にちなんで「イザナミ米」と名づけられ、今では特産品として定着しています。

住民のみなさん約30人が慣れた手つきで手植えをし、田植えの後は、地元の田植え作業の泥落としを兼ねた懇親会が行われました。

代表の田中雅嶽さんは「耕作放棄地が増えているが、休耕田の草刈作業に苦勞するより、この土地が地域のためになる方法を考えて始めた。熊野自治振興区が経営しているイザナミ茶屋では、イザナミ米を使って丼物、せんべい、餅などを販売している。多くの人に食べてほしい」と話されました。

プロの演奏にうっとり♪ 市内4中学校で広島交響楽団の演奏会



5月9日、比和中学校で、中・四国で唯一のプロオーケストラである広島交響楽団の演奏会が行われました。

NHK交響楽団の茂木大輔さんの指揮により、今年生誕250年になるモーツァルトが作曲した4曲を演奏。また、演奏の間には、茂木さんからユーモアを交えた楽器の説明や、プロの演奏家になるための極意、交響曲の特徴などについて紹介がありました。間近でプロの演奏に触れ、生徒たちは「きれいな音色でとっても良かった」と感激していました。

また、総領中学校や西城中学校、小奴可中学校でも演奏会が行われました。

新緑の中を駆ける 第17回比婆山国際スカイラン

5月21日、比婆山連峰で、第17回比婆山国際スカイランが開催されました。

午前10時、メイン会場県民の森をスタート。A(18.5km)、B(9km)、C(5km)の各コースに、京阪神、中四国、九州地方から集まった474人のアスリートが挑戦しました。

標高1,200m級の稜線を走るスカイランは、その過酷さにおいて国内有数の山岳マラソンとして知られ、国内外からトップクラスのアスリートが出場しました。

また、6km・2kmのハイキングコースも設定されています。のんびりと山登りや自然観察、森林浴を楽しみたい家族やグループなど県内各地からの参加者も多く、最近では自治振興区の行事として市民のみなさんの参加も増えています。広島県山岳連盟のガイドさんから山の話聞きながら、小学生から80歳代の高齢者まで133人がハイキングを楽しみました。



県民の森をいっせいにスタート



ハイキングコースに自治振興区で参加した明神町愛好会

みんなで火の用心 西城保育所「おひさま幼年消防クラブ」 防火パレード



はしご車体験

西城保育所の5歳児30人でつくる「おひさま幼年消防クラブ」が4月24日、西城町市街地で防火パレードを行いました。

「おひさま幼年消防クラブ」は、子どもの頃から防火意識を育てようと、昭和62年に結成されました。林野火災防止強化月間の4月に毎年パレードを行い、住民に火の用心を呼びかけています。

「火の用心」と染め抜いたそろいの法被の園児たちが「ぼくたち、わたしたちは火あそびはしません」と防火の誓いを行って西城保育所を出発。拍子木を打ち鳴らし、「みんなで守ろう火の用心」と呼びかけながら、商店街1.5kmをパレードしました。

西城地域では近年、住宅密集地での火災が続いて発生しています。沿道の住民のみなさんは、園児の呼びかけに声援をおくり、防火への誓いを新たにしていました。

